

# 「おおむら支え合いプラン」を 策定しました



市と大村市社会福祉協議会は、平成20年度からすすめていた、「大村市地域福祉計画・大村市地域福祉活動計画（おおむら支え合いプラン）」を策定しました。

このプランでは、少子高齢化や核家族化など、家族や地域の間関係の希薄化が進むなど、地域社会が大きく変化する中で、行政だけでは解決が困難な問題に対応するため、地域における新たな支え合いの仕組みづくりを目指します。

平成23年度から平成32年度までの10年間の計画期間としています。

## 住民の皆さんと一緒に 作り上げました

おおむら支え合いプランは、「誰もが安心して暮らせる地域」の実現を目標としています。

できるだけ多くの皆さんに、計画の素案づくりの段階から積極的に関わっていただくため、「小学校区住民懇談会」やワークショップなどを行いました。

### 小学校区住民懇談会

「みんなできやべろう。わがまちの今、そして明日」

地域の生活課題を語り合い、その解決策を住民の皆さんとともに考えていく場として、住民懇談会を開催しました。

開催期間 平成20年9月～22年1月  
ところ 15小学校区  
参加者 673人



### ワーキンググループ

「みんなできやべろう！いきいき支え合いのまち おおむら」

小学校区住民懇談会で集約したご意見・ご提案をさらに深めるため、平成22年4月から9月までの半年間に15回、ワークショップを開催しました。

公募した住民や福祉関係者、関係団体および市・社会福祉協議会など74人の皆さんに参加していただきました。



向こう三軒両どなり  
みんなつながり支え合い  
いきいき安心おおむらづくり

今後、市と社会福祉協議会が、地域住民や関係団体、福祉関係者の皆さんとともに「向こう三軒両どなり、みんなつながり支え合い、いきいき安心おおむらづくり」を基本理念として、地域福祉を推進するため取り組みを進めていきます。

### 今後の主な取り組み

#### ◎災害時要援護者への支援

災害時に一人で避難することが難しい高齢者や障がいのある人などの災害時要支援者と、地域住民との助け合いの仕組みづくりを進めます。

#### ◎住民一人ひとりに福祉意識を広げる環境づくり

住民同士が日ごろからふれ合い、思いやりを持ってお互いを理解し、支え合う関係を築いていくため、障がいがある人への理解を深めるための交流事業や、小中学校における福祉教育を推進します。

#### ◎小地域における地域福祉の推進

お住まいの地域が抱える問題意識を共有し、解決に向けて主体的に活動するため身近な生活圏域（小学校区単位など）の組織づくりの支援などを行います。